

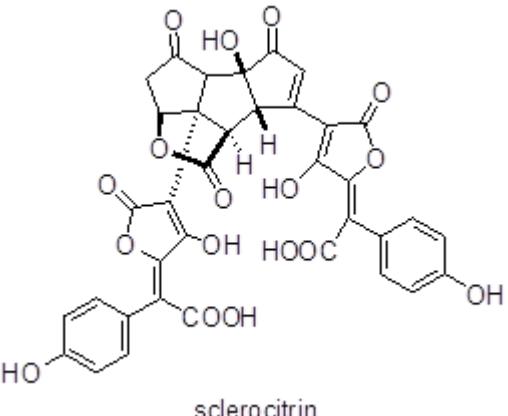
ニセショウロ *Scleroderma aurantium*

ニセショウロ科ニセショウロ属

概要

地方名	
傘の大きさ	小型から中型
形と色	黄土色から褐色で球形をしている。断面は黒色で、柄はほとんどない。
発生時期	夏～晚秋
発生場所	地上に群生する。
その他	形状が球形で、特徴がないため、食用のものとの区別が難しい。
症状	食後 30 分から数時間で嘔吐、下痢、腹痛を起こす。
毒性成分	毒成分は不明であるが、スクレオシトリン色素などを含む。
間違えやすい食用きのこ	

**詳細****1 特徴**

(1) 毒性成分*1	(成分名)
	スクレオシトリン (Sclerocitrin)
	(構造式)
	 <p style="text-align: center;">sclerocitrin</p>
	スクレオシトリンを含有するが、詳しい毒性は明らかではない。
(2) 食中毒の型	胃腸消化器系
	(毒性成分の含量)
	(毒性発現機構)
(3) 中毒症状*2	嘔吐、下痢、腹痛など消化器系の中毐症状
(4) 発症時間	食後 30 分から 2~3 時間程度
(5) 発症事例	(症例 1)
	平成 20 年（2008 年）福岡県で女性が誤ってニセショウロを摂取し、激しい腹痛、下痢、嘔吐の症状を示した。
	(症例 2)
(6) 中毐対策	(その他)

**2 毒性成分の分析法**

毒性物質が明らかでないため、分析法はなし。

(1)	説明
	(図解)

**3 その他**

諸外国での状況	
参考になる情報*1	よく似たニセショウロ科にはヒメカタショウロ ( <i>Scleroderma lycoperdoides</i> )、ハマニセショウロ ( <i>Scleroderma bovista</i> ) などがある。いずれも有毒である。

## 4 間違えやすい食用きのこ

1 *1	一般名	ショウロ
	学名	<i>Rhizopogon roseolus</i>
	発生場所	
	発生時期	
	形態	

## 引用・参考文献

1) 長沢栄史. 「フィールドベスト図鑑 14 日本の毒きのこ」(株) 学習研究社

2)

Winner M, Gime'nez A, Schmidt H, Sontag B, Steffan B, Steglich W.: Unusual Pulvinic Acid Dimers from the Common Fungi *Scleroderma citrinum* (Common Earthball) and *Chalciporus piperatus* (Peppery Bolete), *Angewandte Chemie International Ed.* 43, 1883 - 1886 (2004).

Gill M.: Pigments of fungi (Macromycetes), *Nat. Prod. Rep.*, 20, 615-639 (2003).